

参議院議員 島村 大 レポート

2018年 1月号 vol.42

発行元：自民党神奈川県参議院選挙区第三支部

◆島村大 現在の主な役職◆

- 〈参議院〉厚生労働委員会委員長、北朝鮮拉致問題等特別委員会委員、国民生活・経済調査会委員
- 〈自民党〉厚生労働副部長、労働団体委員会副委員長、一億総活躍推進本部幹事、超電導リニア鉄道特別委員会幹事、女性局次長
- 〈その他〉日本・カーナ友好議連幹事長、国民歯科問題議連事務局次長



謹賀新年



日頃より温かなご支援を賜り、心から御礼申し上げます。
議員生活も5年目に入り、今年は選挙1年前、「来年は選挙」の年に当たります。「島村は年が改まるたびに選挙のことばかりじゃないか」と言われそうですが、全くその通りなのです。

小選挙区の衆議院議員は、常に解散を意識しなければならない「常在戦場」にあります。一方、参議院議員は解散もなく任期は6年、「のんびりしていいよね」と思われることもしばしば。実は神奈川県全域を走り回っているうちに、6年のカウントダウンは意外にもあっという間です。とりわけ後半3年間は、まさに小刻みのカウントダウン！常に「これまで何を成し遂げられたのか」、「どれだけ皆様のお役に立てたのか」といったことを、参議院特有の長期政策の経過も含め繰り返し追及しています。ぜひ、皆様からもご要望や不十分な点など、どしどしご指摘頂ければ幸いです。

さて、間もなく平成30年の通常国会が召集されます。安倍総理が年頭会見で「通常国会は働き方改革国会だ」と述べている通り、私が委員長を務める厚生労働委員会では、長時間労働の是正や同一労働同一賃金の実現などを盛り込んだ「働き方改革関連法案」が最大の目玉です。さらに受動喫煙防止のための健康増進法改正案、また、カジノを中心とする統合型リゾート施設（IR）法案なども、今国会で国民の皆様が大きな関心を寄せているところです。

これからも現場の声を大切に、社会保障制度はじめ山積する重要課題にしっかりと取り組んでまいります。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



昨年末の活動より



12. 5. 統合医療推進議員連盟



12. 8. 税制調査会
(森林環境税)



12. 15. 小田急多摩線延伸要望活動



12. 21. 北朝鮮拉致問題等
特別委員会

◇ 参議院議員 島村 大 事務所 ◇

【神奈川県事務所】横浜市保土ヶ谷区帷子町1-40-1-2F

【国会事務所】千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館415号室

<https://www.shimamura-dai.jp/>

TEL 045-333-1800/FAX 045-333-1820

TEL 03-6550-0415/FAX 03-6551-0415



安倍晋三総裁 年頭所感



新年あけましておめでとうございます。

本年は、明治維新から、150年の節目の年です。

「高い志と熱意を持ち、より多くの人たちの心を動かすことができれば、どんなに弱い立場にある者でも、成し遂げることができる。」

明治初期、わずか6歳で岩倉使節団に加わった津田梅子の言葉です。性別に関係なく個人の能力が活かされる米国社会に学び、帰国後、女子高等教育機関を立ち上げました。そして、その生涯を、日本人女性の可能性を開花させることに捧げました。

150年前、明治日本の新たな国創りは、植民地支配の波がアジアに押し寄せる、その大きな危機感と共に、スタートしました。

国難とも呼ぶべき危機を克服するため、近代化を一気に推し進める。その原動力となったのは、一人ひとりの日本人です。これまでの身分制を廃し、すべての日本人を従来の制度や慣習から解き放つ。あらゆる日本人の力を結集することで、日本は独立を守り抜きました。

今また、日本は、「少子高齢化」という国難とも呼ぶべき危機に直面しています。

「人口が減少する日本は、もう成長できない。」

6年前、日本には、未来への悲観論ばかりがあふれていました。

しかし、この5年間のアベノミクスによって、名目GDPは11%以上成長し過去最高を更新しました。生産年齢人口が390万人減る中でも、雇用は185万人増えました。いまや、女性の就業率は、25歳以上の全ての世代で、米国を上回っています。

有効求人倍率は、47全ての都道府県で1倍を超え、景気回復の温かい風は地方にも広がりつつあります。あの高度成長期にも為しえなかったことが、実現しています。

未来は、変えることができる。

女性も男性も、お年寄りも若者も、障害や難病のある方も、一度失敗を経験した人も、誰もが、その能力を最大限に発揮できる「一億総活躍」社会を創り上げることができれば、日本は、まだまだ力強く成長できる。私は、そう確信しています。

未来は、私たちの手で、変えることができます。

すべては、私たち日本人の志と熱意にかかっている。150年前の先人たちと同じように、未来は変えられると信じ、行動を起こすことができるかどうかにかかっています。

子供たちの未来に大胆に投資する。子育てや介護の不安に向き合い、社会保障制度を「全世代型」へと大きく改革する。いくつになっても、誰にでも、学び直しとチャレンジの機会がある社会を創る。

毅然とした外交を展開するとともに、いかなる事態にあっても国民の命と平和な暮らしを守り抜く。

未来を見据えた新たな国創りに向かって、昨年、国民の皆様から総選挙でお力を頂いて、大きな一歩を踏み出すことができました。

本年は、「実行の一年」であります。昨年の総選挙でお約束した政策を一つひとつ実行に移してまいります。2020年、さらにその先を見据えながら、自由民主党は、新たな国創りに向けて、国民の皆様と手を携え、改革を力強く進めていく決意です。

最後に、国民の皆様の一層の御理解と御支援をお願い申し上げますとともに、本年が、皆様一人ひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

平成30年1月1日

自由民主党総裁 安倍 晋三